



国立高等専門学校機構  
大分工業高等専門学校

氏名	久保山 力也		
ローマ字 姓(大)名(小)	KUBOYAMA rikiya		
所属学科	一般科文系	職名	講師
最終学歴	九州大学大学院博士後期課程単位取得退学		
学位	修士(法学) 修士(教育学)		
所属学会	日本法社会学会 全国社会科教育学会 日本社会科教育学会 法と教育学会 日本犯罪学会 専門日本語教育学会 法教育学会(韓国)		
研究分野	法社会学(法教育、法専門家、ADR)		
研究テーマ	① 日本ならびに韓国における法教育の方法開発と教材作成 ② 司法書士を中心とした法専門家研究と新しいリーガルサービス ③ ケニア都市部における多元的正義と紛争解決システム ④ ウズベキスタンにおける弁護士業務環境と法の教育		
<b>主な研究業績(著書, 論文等)</b>			
【01】久保山力也(2016)「司法書士制度のパラダイム転換はいかにして可能となるか」全青司(2016年2月号)全国青年司法書士協議会。			
【02】Setsuo Miyazawa, Atsushi Bushimata, Keiichi Ageishi, Akira Fujimoto, <u>Rikiya Kuboyama</u> and Kyoko Ishida(2015) "Stratification or Diversification? - 2011 Survey of Young Lawyers in Japan" <i>East Asia's Renewed Respect for the Rule of Law in the 21st Century</i> , BRILL NIJHOFF, LEIDEN/BOSTON.			
【03】久保山力也(2013) 나고야대학 등 '법률정비지원활동' 의 현황 (名古屋大学など「法律整備支援活動」の現況) 『法務士』(2013年11月号)大韓法務士協会。			
【04】久保山力也(2013) 일본 '법조양성제도' 의 개혁 과정과 향후 전망 (日本の「法曹養成制度」改革の過程と展望) 『法務士』(2013年6月号)大韓法務士協会。			
【05】久保山力也(2012)「韓国法曹文化の壁—継続教育と女性法曹教育の視点から—」『法曹継続教育とジェンダー』(第8章I)日本加除出版。			
【06】久保山力也(2012)『解釈のちから』福岡県司法書士会。			
【07】久保山力也(2012)『隣接』の解体と再生—協働から競争へ— 『法社会学』(76)日本法社会学会。			
【08】久保山力也(2011)「法教育の「新たな」可能性と「くらしの法律家」の実質化」『法社会学』(75)日本法社会学会。			
【09】久保山力也(2011)「紛争解決システムの alternative 問題 —『ジュリチェケ』にADRの可能性を見出す—」『青山法務研究論集』(3)青山法務研究学会。			
【10】久保山力也(2011)「司法修習、弁護士を選んだ理由、最初の就職が決まった時期」『青山法務研究論集』(4)所収、「62期弁護士第1回郵送調査の概要(第5章)青山法務研究学会。			
【11】荒川歩・ <u>久保山力也</u> ・新井龍太郎(2011)「刑事事件についての発言能力を創出する—「裁判員裁判ゲーム小学校高学年版」の開発とその可能性」『シミュレーション&ゲーミング』(22)日本シミュレーション&ゲーミング学会。			



【12】宮澤節生・久保山力也（2011）「弁護士会内部における業務分野の『評価』」『青山法務研究論集』（3）青山法務研究学会。

【13】久保山力也（2010）「リーガルサービスのパラダイム転換へ向けた「法教育」—「教材」／「担い手」問題とリーガルプロフェッションの「作法」—」『青山法務研究論集』（創刊号）青山法務研究学会。

【14】久保山力也（2010）「ADR における「相談」の再評価と「法と心理」研究の可能性に関する一試論：交通事故 ADR ならびに「ソフト」としての ADR 論を中心に」『法と心理』（9 巻 1 号）法と心理学会。

【15】久保山力也（2010）「プロフェッションと研修」『月報司法書士』（2010 年 12 月号）日本司法書士会連合会。

【16】久保山力也（2008）『『最終報告書 法学適性試験の研究開発にかかる基礎研究』の紹介』『法科大学院統一適性試験テクニカル・レポート 2007』（第 10 章）商事法務研究会。

【17】久保山力也（2008）「東アジアにおける弁護士論の探求、その理念的考察」『九大法学』（97）九大法学会。

【18】広渡清吾・久保山力也（2007）『街の法律家ガイド』三省堂新六法 2008 年度版付。

【19】久保山力也（2005）「韓国における法意識研究の展開とその問題点」『九大法学』（90）九大法学会。

【翻訳著 01】李喆雨著・久保山力也訳（2007）「国民国家の超国家化と市民権／出入国談論：韓国の在外同胞政策を中心に」『市民社会と法』（柵瀬孝雄編著、ミネルヴァ書房、原文韓国語）、第 1 章。

【翻訳著 02】崔大権著・久保山力也訳（2007）「比較社会・文化的文脈からみた司法積極主義と司法消極主義 — 一つの探索」『市民社会と法』（柵瀬孝雄編著、ミネルヴァ書房、原文韓国語）、第 4 章。

【翻訳著 03】李相泳著・久保山力也訳（2007）「現代韓国立法に対する法社会学的分析—現代の韓国における立法の諸特徴—」『市民社会と法』（柵瀬孝雄編著、ミネルヴァ書房、原文韓国語）、第 10 章。

【翻訳著 04】金昌祿著・久保山力也訳（2007）「韓国における「ロースクール」論議」『市民社会と法』（柵瀬孝雄編著、ミネルヴァ書房、原文韓国語）、第 12 章。

#### 学術関係の受賞歴

特にありません。

#### 社会活動

2012 年 3 月から 2 年間、韓国・釜山大学校に学び、さまざまな活動を行いました。

#### 技術相談・協力できるテーマ

○法の教育に関する各種プログラム

○倫理研修、コンプライアンス研修、交渉研修、法専門家に関する研修、紛争解決に関わる研修（ADR や訴訟関連）

○韓国、ケニア、ウズベキスタンの社会や法に関する各種プログラム